

けんすけタイムズ



Kensuke Times

民進

Minshin Press

愛知13区版

民進党 民進プレス編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988 (代表)

press@dpj.or.jp

https://www.minshin.jp

今回のタイトル

終盤国会

衆議院議員

愛知13区：安城・刈谷・碧南・知立・高浜



おおにし健介

1. カジノ法案の強行採決

与党は、「統合型リゾート（IR）整備推進法案」（カジノ法案）をたった5時間半の委員会審議で強行採決しました。そもそも各党各会派の合意が前提となる議員立法で強行採決が行われること自体異例であり、国論を二分するようなテーマについて、参考人質疑も公聴会も開かず短時間の質疑で決めてしまうやり方はあまりにも乱暴です。与党の公明党でさえ賛否が割れました。

IRについては、「単体では賭博に当たるカジノが統合型リゾートになればなぜ違法性が阻却されるのか不明」、「ギャンブルで経済成長という考え方が不謹慎」、「韓国の江原ランドの失敗に学ぶべき」等、カジノそのものに否定的な意見も党内に多くありましたが、私は、この法案の最大の問題は、パチンコ等を含めたギャンブル依存症の包括的対策が抜け落ちていることだと思います。ラスベガスで有名な米国のカジノ売上は年間約2兆円に対して、パチンコは約23兆円で、そのためわが国のギャンブル依存症の疑いのある人は、人口の約5%と世界最悪の状況にあります。このことを放置して、カジノ導入がいいとか悪いとか言ってみただけで意味がないと思います。

パチンコ等他のギャンブルを含めギャンブル事業者に負担を求める包括的ギャンブル依存症対策がないままに、外国人に限定しないカジノを認めることについては、我々としては、現時点では賛成できません。



2. 電通過労自殺の悲劇を繰り返さない

街にはクリスマスソングが流れていますが、昨年のクリスマスの日に通電社員の24歳の女性が過労自殺しました。この件について、先日、衆議院厚生労働委員会で審議が行われ、私も質問に立ちました。

まず、考えるのは、これを防ぐことはできなかったということです。電通では、過去2度、若い社員の過労死が起こっており、4ヶ月前を含めて3度は是正勧告を受けていたことが分かっていますが、改善がなかったことを厚労省は重く受けとめるべきです。

うらに続く→



ポスター掲示募集中!!

ポスターを貼っていただける方は事務所までご連絡下さい。宜しく願いいたします。



衆議院議員

おおにし健介事務所

〒446-0058

愛知県安城市三河安城南町 1-11-5

☎0566-70-7122 Fax0566-74-2008

Mail office@oniken-web.jp

→おもてより

過労死問題でブラック企業の汚名を受けたワタミでは、新規採用ができなくなり、一部店舗を閉鎖した結果、赤字に転落しました。私は是正勧告を受けた企業の社名公表の基準を緩和すべきと考えます。

自殺した高橋まつりさんの SNS の書き込みを見ると、死の直前はほとんど寝ることができていなかったことが分かります。この点、EU で実施されているように一定時間以上の休息時間を与えることを義務化するインターバル規制を設けるべきです。

また、最近では、デパートが元旦・二日を休みにしたり、ファミリーレストランの中には 24 時間営業を止める動きがありますが、働き方を変えるためには、不便さを甘受することも必要なかもしれません。



3. 拙速・強引・議論無視の国会運営

私は、安倍政権の国会運営は、「SGGM」だと思います。すなわち、拙速、強引、議論無視です。TPP 協定・関連法案、年金カット法案、カジノ法案と衆議院では数の力で強行突破しました。

安倍総理は年金審議で「こんな議論何時間やったって同じ」と言い放ちました。国会軽視であり許されない暴言だと思います。安倍総理は、予算委員会で「私は立法府の長」と言ったことがあります。政府は国会に法案の審議をお願いしている立場ということをも全く理解されていない発言であり、かつて自民党の先人たちが「国会は野党のためにある」と言っていたのと大違いです。

多数決をとれば与党の思い通りになるに決まっています。国会の審議を通して、少数派の意見に耳を傾け、疑問点を説明し、反対派を説得するプロセスそのものが民主主義であり、「野党は、どうせ反対なのだから、面倒くさい議論はすっ飛ばして決めてしまえ。」というのはそれを否定する暴挙だと思います。

最近では、審議を分かりやすくするための資料の配布やパネルの提示について、政府・与党に都合の悪いものは検閲し、配布や提示を認めないことが多くなっています。こうした言論封殺や大政翼賛会的な国会の雰囲気は、気味が悪いと思います。



NEWS&TOPICS



ひび名古屋市議の遺志を引き継ぐ

去る 11 月 3 日、名古屋市議の日比健太郎さんが急性白血病で 35 歳の若さでこの世を去りました。日比さんは、骨髄移植を目指し、白血球型が適合するドナーが 4 人見つかりましたが、いずれも移植には至らず、臍帯血移植に切り替えました。

日比さんは、この自らの体験を基に、生前、骨髄登録の推進に向けた政策提言を行っていましたが、党青年局の仲間を中心に日比さんの遺志を引き継ぎ、これを「日々プラン」として党をあげて取り組むこととし、12 月 4 日には私もパネリストとして参加し、シンポジウムを開催しました。

人種的均質性の高い日本では、96%の患者に白血球型の適合するドナーが見つかりますが、様々な事情から実際に移植に至るのは 55%にとどまります。岐阜県瑞浪市をはじめとする自治体で行われているようなドナーが移植のために会社を休む場合の休業補償や休暇制度の整備を進めるべきです。

ドナーには 54 歳以下という年齢制限があるため、若いドナーを増やす必要があります。ドナー登録場所の周知や若者をターゲットにした戦略的な広報も重要となります。



check!
おおにし健介の日頃の活動

おおにし健介の国会での質問動画

今までの国会質問を全て見ることができます。発言者名・大西健介で検索してください。

衆議院 TV
インターネット中継
Welcome to the House of Representatives Internet TV

毎日更新中!
facebook

Facebook ページでおおにし健介の日頃の国会活動、地元での活動の様子、また最新情報など毎日お知らせしています。是非みなさまも「いいね!」をよろしくお願いします。友達申請お待ちしております!

